



たてやま清隆市議会議員

日本共産党市議団ニュース N0159
鹿児島市山下町 11-1 市役所別館 3 階議員控室
TEL099-216-1440 FAX099-225-5607
この市議会報告は政務調査費で作製されています。
市政へのご意見・ご要望をお聞かせください。 2013年1月発行

2012年4月~12月 134件のご相談が寄せられました! 今年も「命とくらしを守る」市政のために全力をつくします

私は、昨年4月から市議会議員としての活動をスタートし、**谷山・坂之上・喜入・皇徳寺などの地域を中心に**、市民の要望に応える活動に取り組んできました。これまで **134件のご相談**をお受けし、市当局との協議や議会での質疑等を通じて、その問題解決に取り組んできましたので、その一部をご報告します。

なお未解決の問題も多く残されております。引き続き、解決のために全力を尽くし、党市議団と共に「市民の命とくらし」を守る市政の実現をめざしてまいります。

皇徳寺 小学校近くの階段に手すりを設置

皇徳寺 道路の凹凸を補修

皇徳寺 自転車やバイクが滑りやすい側溝蓋を滑りにくい蓋に交換しました

谷山 和田中近くの交差点にロードミラー設置

皇徳寺 県警に信号機設置を要請し、回答を得ました

皇徳寺 車で削られたアスファルトを補修

皇徳寺 ふれスポを利用する市民の要望を届けました

谷山 砂走公園近くの道路に突き出たフェンスを撤去

谷山 側溝蓋をカラー化して事故防止

南鹿児島駅 駅ウラのがけ崩れの安全対策に取り組んでいます

谷山 道路を平らにして高齢者も歩きやすい道路に補修

喜入 中名校区に公園設置を求める住民の声を届けました

谷山 子どもの事故発生場所に信号機設置

谷山 信号機や危険防止ポールを設置

谷山 事故発生場所に停止線と標識を設置

皇徳寺 駐輪場の確保、谷山電停前の踏切撤去の見直し等、住民の声を届けました

谷山地区連続立体交差事業

喜入 日石基地前の海岸通路のガレキを片づけました

134件の相談内容の特徴と到達点

図1：相談内容の内訳

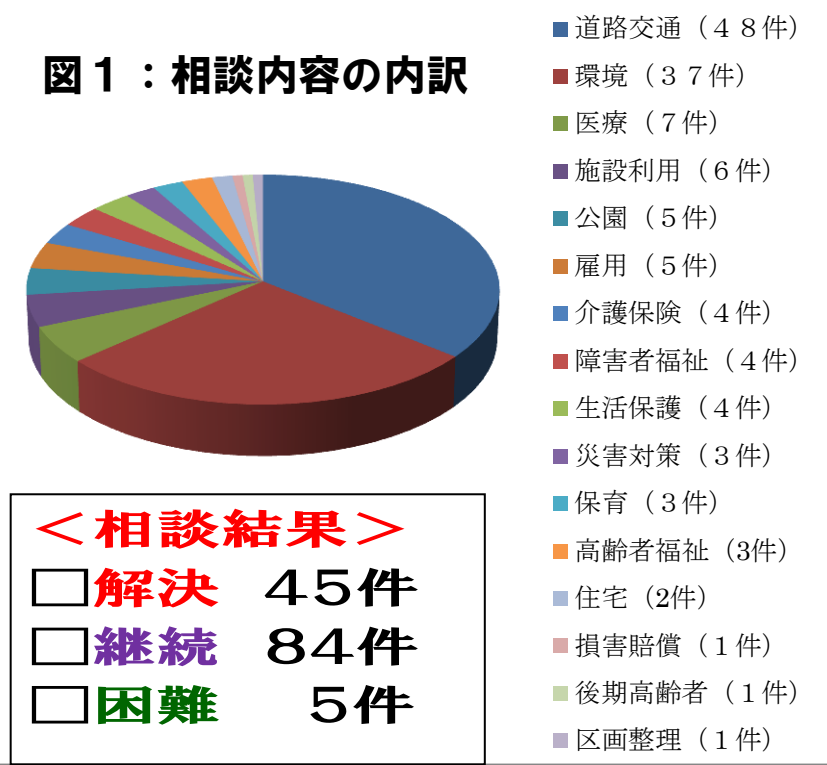
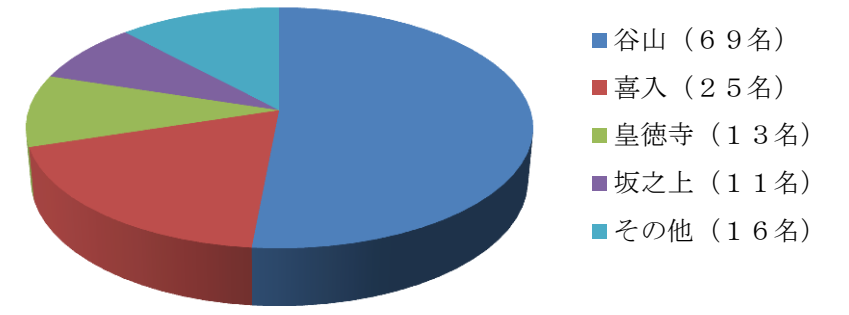


図2：相談者の地域別内訳



(注) 相談者数は延べ件数であり重複もあります。
(注) 継続中の相談内容は、現時点では解決まで一定の時間を要するものや、解決のためには様々な対策を講じる必要のあるものが含まれています

毎議会、個人質疑に立ち、市長と当局の見解を質しました！

平成24年6月19日 第2回定例会 個人質疑

1、県知事選挙と市長の政治姿勢について

県知事選挙の争点として「川内原発3号機増設・再稼働」「人工島建設」「桜島トンネル計画」「乳幼児医療費助成」の4つの問題について市長の見解を質し「県言いなり」の市政ではなく、「市民の命と暮らしを守る」最優先の市政執行を求めました。

2、国民健康保険制度について

国保税が高すぎて払えない市民や無保険のため医療を受けられない実態を示して、高すぎる国保税の減免制度の改善を求め、当局も他都市の国保減免制度の調査を表明しました。

3、無料低額診療制度について

お金がない人も医療を無料又は低額で受けられる医療機関が市内に3施設あることを明らかにし、鹿児島市立病院も、新病院建設に向けて、無料低額診療事業に取り組むことを要望しました。

4、子ども・子育て新システムと認定こども園について

4月時点で保育所の待機児童が177名である実態を明らかにし、認可外保育所の「認可化」の推進を要望すると共に、政府が進める「子ども・子育て新システム」による保護者と園の直接契約による認定こども園では待機児童は解消されないということを、具体的事例を示して、その問題点を質しました。

5、薬害C型肝炎訴訟について

カルテ等や治療当時の医師や看護師がいないために、薬害であることを立証できないC型肝炎患者が多数おられる実態を示し、鹿児島市立病院も調査への協力を表明しました。

6、喜入地域の駐在所統廃合問題について

県警が住民との合意もなく駐在所廃止を推進し県議会では住民への説明を続けると表明しているにもかかわらず説明努力が全く行われていない問題について、市長と当局の見解を質し本市としても県警に働きかけることを確認しました。



7、谷山地区連続立体交差事業について

現在進められている鉄道の高架化事業についての住民アンケートに寄せられた市民の要望を示し、それぞれの要望について当局の見解を質しました。

平成24年9月18日 第3回定例会 個人質疑

1、本市の介護保険行政の現状と今後の課題について

介護保険料の大幅引き上げに対して市民の問い合わせが、千件を超えたことを明らかにし、他都市の介護保険料の減免制度の調査を当局も表明。4月の介護報酬改定に伴い、訪問介護時間の短縮による利用者ヘルパーへの悪影響、介護職員の処遇改善加算の賃金実態や介護施設での人員不足等について問題点を質し、それぞれの調査を要請しました。

2、安心快適住宅リフォーム支援事業について

2回の募集を合わせて、地元経済へ約52億円の経済波及効果が生まれ、申請希望の市民が多いことから、事業継続について市長も「今後各面から検討する」と前向き答弁をしました。

3、土地購入（星ヶ峯みなみ台）問題について

市住宅公社が作った借金を返済するために市民の税金を使って土地を購入する議案が提案されましたが、地元住民への説明もなく計画が進められている点や、定期借地権による土地利用のデメリットの分析が不十分である点などを質しました。

4、喜入地域の都市公園（街区公園）について

喜入地域内で、唯一中名校区だけ街区公園がないために、住民から公園設置を求める陳情署名が出されている点を質したところ、当局から「検討を行う」との答弁がありました。

5、鹿児島ふれあいスポーツランドについて

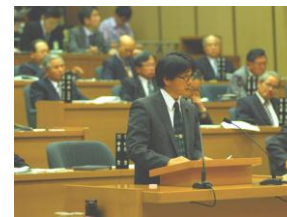
毎年120万人以上が入場している「ふれスポ」を利用する市民有志から「脱水器の設置」「定期券の発行」等の要望が出されている点を質し、当局も検討を表明しました。

6、谷山連続立体交差事業への市民の要望について

駐輪場不足など住民アンケートにもとづく要望について当局の見解を具体的に質すと共に、とりわけ営業への悪影響が懸念されていた谷山電停前の踏切撤去については、撤去しない方向で対策を検討するとの答弁がありました。

7、総合評価方式入札と「公契約」について

入札の際に適正な賃金と労働環境を保障する公契約条例の必要性を質す中で、本市では清掃や警備業務に限定して労働環境の調査票を契約の際に締結していることが明らかになり、他の業務契約への拡大を要望しました。



平成24年12月10日 第4回定例会 個人質疑

1、市長の政治姿勢について

市長選挙後であり、かつ衆議院解散総選挙の最中に開会される議会として、原発・消費税・社会保障・TPP・オスプレイ配備・憲法改正の諸問題について市長の政治姿勢を質すと共に、市長がマニフェストで掲げた公約の中で、党市議団も賛同できる「認可外保育所の保護者助成」「住宅リフォーム支援事業の継続」等について、今後の実施にむけた市長の見解を求めました。

2、本市のB型・C型肝炎対策について

本市では14000人～17300人の感染者・患者が推定され患者の多くが国の責任による感染被害者であることから、肝炎対策基本法にもとづく「すべての市民が一度は肝炎ウイルス検査を受ける体制」を早急に確立することなど、本市の肝炎対策の充実を市長に要望しました。

3、心をつなぐ訪問給食事業について

訪問給食事業が、ここ数年利用者数の横ばい状態が続いている要因として、申請が阻害されている事例があることを示し、事業の周知徹底と利用促進を要請しました。

4、訪問介護時間の調査結果について

第3回定例会後、本市が独自に調査し、訪問介護時間が短縮されたことで利用者やヘルパーに様々な影響を与えている実態が明らかになりました。

5、喜入地域の駐在所統廃合問題について

第2回定例会以後の県警による住民説明の経過について答弁を求めると共に、交番化による問題点を質し、今後対策を講じるよう県警への働きかけを要請しました。



生活相談のご案内



- 毎週月曜日 午後1時より
- 市役所日本共産党控室(別館3階)
- 電話 216-1440 FAX225-5607